

軽量かつ高断熱性を有した角型ダクト「F-TAQ[®]」を開発

フジモリ産業株式会社

フジモリ産業株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役会長兼社長：藤森 行彦）は、軽量かつ高断熱性を有した「F-TAQ[®]」を開発しました。工場、店舗、倉庫といった大規模空間の角型ダクトとして普及を目指しています。

建設現場では、慢性的な技能工不足に加えて、限られた工期の中で品質を確保する工法が求められています。中でも一般空調工事における角型ダクトは、亜鉛鋼板で構成され、ダクト吊り込み後に保温材を巻き付ける方法で施工されます。鋼板製であるため、その重量が作業性に影響することはもちろん、大規模地震時には周辺へ被害をもたらす可能性があります。また、現場での寸法調整といった加工は困難です。保温工程においては、その材料がグラスウール等の不定形材料であるため、巻き付け状態によっては見た目に影響します。「F-TAQ」はそのような課題を解決する画期的な角型ダクトです。

「F-TAQ」は、イソシアヌレートフォームを芯材として樹脂補強アルミ箔を面材とした軽量かつ高断熱ボードを採用しています。このボードは不燃材料の国土交通大臣認定を有しており、切断加工し組み立てることで角型ダクトとなります。接続には特殊加工したコネクタやソケットを使用します。

ボードはカッター等の工具で切断できるため、現場での加工も可能です。重量は鋼板製に比べ約 5 分の 1 と軽量であるため、長尺での吊り込み作業も可能です。また、大規模地震時でも被害を少なくすることが出来ます。ボードは独立気泡構造で両面アルミ箔であるため、高断熱に加え、防水・防湿効果も有しています。ボード自体で保温材の役割もあるため、保温工程の見た目の問題も解決します。角型ダクトとしての気密性や耐圧性も検証しています。



図 1. 分岐施工例



図 2. 従来ダクトとの接続

「F-TAQ」の年間販売量は 1 万 m²を見込んでいます。

本件に関するお問合せは、以下までお願いします。

フジモリ産業株式会社

建材事業部 技術部 技術課 設備・住宅資材開発チーム

担当：村田、尾形、京井

TEL：03-5789-2383 / FAX：03-5423-5024

E-mail:murata-taka@fujimori.co.jp

以上